

vol.6 Saishigakuhoren NEWS

埼玉私学保連ニュース

平成21年度を振り返って

埼玉私学保連 会長 早船 雅文

平成21年度、埼玉県私学保護者会連合会は3年目を迎えました。初年度から、青少年健全育成と私学振興を掲げて、埼玉県中学高等学校協会とともに、私学振興大会・公私間格差の是正を求める請願署名活動、そして保護者会研修会を開催してまいりました。



今年度、埼玉県議会議長宛の「私学振興のため、公費支出の更なる充実を求める」請願署名とともに埼玉県知事宛の要望署名も行い、両方とも43万を超える署名が集まりました。そして、11月19日の埼玉県私学振興大会では、平日にもかかわらず2千名を超える保護者の参加を得て、埼玉県知事へ要望署名を渡すことができました。また請願署名は、12月の県議会で採択され、平成22年度の私学関係予算の大幅な増額が見込まれています。さらに、県議会議員と私学予算についての勉強や情報交換もすることができました。

これからも埼玉県中学高等学校協会と連携して、私学振興活動を進めていただきたいと思います。

これらの活動を積極的に支えていただいた保護者会連合会役員の皆さんに感謝申し上げますとともに、さまざまな活動にご支援ご協力いただいた保護者の皆様に御礼申し上げます。

今後の予定

5月22日(土)	加盟校代表者協議会	埼玉会館	3C
6月6日(日)	22年度定期総会	さいたま市文化センター	大集会室
	研修会の折、総会の日時を6月13日とお知らせしましたが、会場の都合で変更になりました。		
11月18日(木)	埼玉県私学振興大会	さいたま市文化センター	大ホール

発行	埼玉県私立小学校中学校高等学校保護者会連合会	広報部
所在地	さいたま市浦和区高砂4-13-20	埼玉私学会館内
TEL	048-866-4478	FAX 048-866-4479

平成21年度埼玉県私学振興大会

振興大会実行副委員長・埼玉私学保連副会長

島村 健

埼玉県私立中学高等学校協会との共催による、埼玉県私学振興大会を、11月19日にさいたま市文化センターにて、来賓の皆様そして県内50校の保護者約2千名の参加をいただき盛大に開催することができました。厚くお礼を申し上げます。今年で保護者会連合会として3回目となる本大会は、「埼玉の私学教育を考える」をテーマとして、埼玉県の私学教育の現状を理解することで、積極的に考え、行動しようと考えました。大会のスローガンに「学校選択の自由を保障する教育環境の整備を」「公私間格差を是正し学習する権利の保障を」掲げ開催いたしました。

主催者挨拶、ご来賓の皆様よりご挨拶をいただき、続いて、現状を理解していただくために、情勢報告の中で意見表明をさせていただきました。昨年は、政権交代で民主党政権になり先行き不透明ななかで、学校選択の自由の保障、公私間格差の是正、また公立高校の無償化に対し私立高校にも相応の公費負担を訴えさせていただきました。大会に先立ち「私学振興のため、公費補助の更なる充実を求める請願署名」に多くの保護者の皆様のご理解ご協力をいただき、**432,857名**の署名をいただきました。大会決議の採択とともにご来賓の皆様に請願をいたしました。

後半は私学生徒の諸活動の発表が行われました。まず昌平高等学校の生徒による「昌平よさこい踊り」。2008年の校名変更を機に新たな伝統作りをめざし、専門家に作曲・振り付けを依頼し、全校生徒で取り組んできたそうです。本大会には新たにメンバーを選び、《チーム絆》としての出演となりました。小池仁校長先生の威勢の良い呼びかけに、生徒たちの元気のいい掛け声が合図で始まりました。鳴子を手に軽快に踊る姿に、保護者の皆様も思わず拍子をとりに始めていました。

幕間には、当日運営委員としてお手伝いいただいた4校4名の保護者の方に、ご自分の中学・高校時代のお話を伺いました。部活・修学旅行・勉強などの話題から、当時のご自分と今私学に通われているお子様とを比べ、思わず笑みのこぼれた方も多かったのではないのでしょうか。

続いて狭山ヶ丘高等学校の吹奏楽部による演奏が行われました。「努力の人であれ」を部訓として日々練習を積み、コンクール・定期演奏会、他様々な場でのコンサートなど幅広い活動を行っているそうです。演奏の後半では上着を脱ぎ色とりどりのベスト姿になり、様々なパフォーマンスをまじえて演奏に、客席は魅了されました。両校ともに、日々の練習の成果を発揮され、の素晴らしい演技・演奏を発表されました。

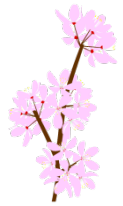
開催にあたり、ご協力いただきました各学校の皆様、実行委員会の皆様に感謝申し上げます。いろいろと反省点、課題等もいただきましたが、次年度へ反映できればと思います。今後も更なるご理解をいただき、ご協力をよろしくお願いいたします。



3年間を振り返って

埼玉私学保連 副会長・総務部長 待鳥 美光

埼玉私学保連は設立からまる3年がたち、間もなく4年目の活動が始まろうとしています。この3年間の活動を思い返すとき、いつも印象深く思い出されるのは、3年前（平成19年）の2月18日に雨の中で開催された設立総会の情景です。数か月にわたって毎週のように12人の発起人が集まり準備をしてきた、組織立ち上げの日です。それに先立つ1月14日には保連結成準備会を開催し、活発な質疑や意見交換が行われていました。どれだけの人が新しい組織を受け入れ賛同してくれるのか、期待と不安と緊張感の中で迎えたこの日、600名の参加者が会場を埋め尽くす中で埼玉私学保連が発足しました。6月には、第1回定期総会を開催し、本格的な活動がスタートしました。すべてが手探りの状況の中、中高協会事務局のサポートを得ながら歩き始めました。7月には、静岡で開催された日私学保連全国大会に参加。そこで20年度全国大会の埼玉開催が決まり、生まれたばかりの埼玉私学保連が運営の一翼を担うことになりました。11月には私学振興大会を中高協会と共同で開催、請願署名活動も行うなど、初めての事業に次から次へと取り組み、みんなで走り抜けた一年間でした。2年目もまた、総会が終わるとすぐに埼玉での全国大会開催、大きな大会を終えてほっと息つく暇もなく請願署名活動や振興大会の実行委員会開催と、みんなで全力投球した一年間だったと思います。そして3年目を迎え、ようやく年間事業の要領がつかめ、また保連の活動の主目的である私学振興についても、助成金の仕組みや活動の方向性がだんだんわかってきたところで任期満了となりました。この間、県内私学の多くの先生方や保護者の方々と知り合い、話し合い、大きな勉強をさせていただきました。とりわけ、ゼロからスタートして大きな組織を作っていく過程で苦楽をともにした12人の発起人メンバーと事務局の先生方には、得難い体験をともにさせていただきましたことを大変感謝しております。また、この3年間、それぞれ多忙な日常の中で時間をさいて一生懸命に活動に力を注ぐ人たちと出会い、仲間として一緒に活動できたことを本当に幸福なことだったと思っています。



埼玉私学保連は私学振興を目的とする組織ですが、保連ができたことにより、多様な特性を持つ県内私学から集まる保護者相互の情報交流の場ができたことは、大きな恩恵だったと感じています。子どもたちの現在から将来にわたる幸福を何よりも願う保護者の思いを共有し、今後も連携を大切にしていけたらと思います。

これからも多くの保護者の皆様が保連の活動に関わってくださいますように、また保連が実のある活動を継続して益々発展していきますように、心から応援しています。

平成21年度研修会

埼玉私学保連 副会長・研修部長 真渡 真一



本年度の研修会は、寄生虫博士・カイチュウ博士として知られる、藤田紘一郎先生をお招きして《「免疫力をつける生活」きれいな社会の落とし穴》をテーマに講演していただきました。藤田先生のお話は、聞いているうちにリラックスし、気づくと頭に染み渡り、為になりまた楽しい一時を過ごさせていただきました。また「キレイ社会」が本当に良いのか？清潔過ぎる事への警鐘とも思えるお話に深く考えさせられました。

山村国際高等学校と開智中高一貫部くすのき会両校の保護者会の活動実践発表は、それぞれ特色ある活動の様子をわかり易く発表していただきました。また保連の活動に関しても、建設的なご意見・提案があり有意義な会となりました。今回の研修会を計画するにあたり、今までとは趣の異なる内容で企画をいたしました。当初の計画通りに行えた事に安堵いたしております。そして予想を上回る多くの保護者の皆様のご参加をいただきました事に心より感謝申し上げます。

1年間ありがとうございました

本年度は、書記として携わらせて頂きました。一番の収穫はやはり「出会い」です。同じ目的・活動そして皆様方。決してマイナスではない自分「史」です。

〈五十嵐 由紀子〉

一年間保連の活動にかかわり、保護者にこの活動を伝え続けていく事が一番大切な事だと感じました。「継続は力なり」の言葉のごとく、地道に伝えていこうと思います。

〈栗村 仁美〉

理事として保連の活動に参加して、様々なまた多くの経験をしました。有意義な1年でした。

〈齋藤 弘記〉

振興大会・研修会・総会等の役員の仕事を、他校の方々と一緒に行うことで、他校の情報も聞け大変に勉強になりました。この経験を自校の理事活動に活かして生きたいと思います。

〈竹内 芳和〉

保連の理事を2年間させて頂きましたが、1年目は何も分からず付いていくのがやっとでした。2年目にしてようやく色々な学校に目が向くようになり、たくさん勉強させて頂きました。

〈土屋 里香〉

理事を経験する機会を得、私立の現状を知る勉強が出来ました。ありがとうございました。

〈都甲 佳代〉

「国民の税金は、全ての子どもに平等に使ってもらいたい。」この活動を、これからも折に触れ発信していこうと思います。貴重な体験をさせて頂きました。

〈豊泉 直美〉

1年間で出来た事はわずかでしたが、これらの仕事を通じて県内の私学にお子さんを通わせる皆様の一助となっていればと思っています。ご協力いただきありがとうございました。〈野本 真理子〉

理事になって1年。振興大会の準備を中心とした活動の中で、他校の校長先生のお話が聴けたり、保護者の方と触れ合うことが出来て、良い経験になりました。

〈藤井 幹之進〉

一年間ありがとうございました。他校の保護者の皆さんや先生方との活動は、良い経験になりました。

〈藤崎 顕孝〉

保連に参加して、毎回の理事会や中高協会と協力しての振興大会に向けて真剣な意見交換ができたこと、また埼玉県議会への請願の提出に携わることができました。1年間お世話になり、ありがとうございました。

〈前田 典子〉

保連の立ち上げから最初の1年は理事として、1年間お休みをし、今年度監事として再び参加しました。1年のブランクはあまり感じませんでした。活動内容や保連の周りの環境が変化している事を感じました。保連が前進している事がよく分かりました。

〈宮脇 みさき〉

保連の活動を通じて新しい出会いがあり、そして色々なことを知る機会に恵まれました。それら全てに感謝するとともに、今後も大事にしていきたいです。

〈浦部 真理子〉

この一年間に沢山の経験をさせて頂きました。振興大会に関わることで、学校での活動をよく考える機会を頂きました。研修会などで聴きたいいくつかの講演はどれも心に響くものでした。また、他校の方との交流で見聞が広がりました。私が理事として活動した以上のもので得ることに、恐縮しつつ心から感謝申し上げます。〈八重畑 佐和子〉

保連の一員となり、活動できたことを嬉しく思います。子供のため、保護者のため、学校のために、他校の保護者と力を合わせ活動することをまなびました。お世話になりました。

〈山岡 明子〉

埼玉県議会議員との私学助成金の勉強会など、一校だけでは出来ない問題に取り組むことができ、埼私学保連の存在意義を改めて認識させて頂いた一年間でした。

〈山口 真弓〉

埼私学保連の理事を引き受けて、いろいろな活動の中で他の学校の保護者の方と交流を持たせた事は、大変良い経験となり、更に楽しい一年を過ごさせて頂いた事に感謝致します。本当に有難うございました。そしてお世話になりました。

〈吉田 真佐子〉

お詫び

前号保連ニュースVol.5の4ページの役員・理事紹介の中で、副会長 島村 健 (大妻蘭山) と記してしまいました。正しくは大妻嵐山です。訂正してお詫び申し上げます。申し訳ございませんでした。

広報部